

### 1.3 北海道エコリサイクルシステムズ株式会社

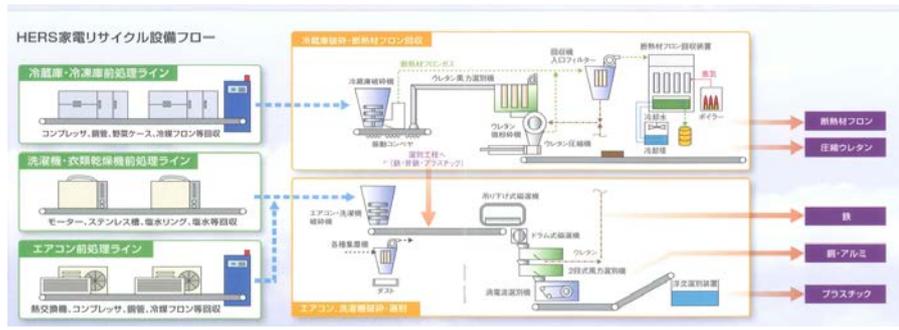
#### 1.3.1 事業者情報

名 称	北海道エコリサイクルシステムズ株式会社			
本社住所	〒059-1362	苫小牧市字柏原 6 番 269		
資本金、出資金	400,000 千円			
従業員数	58 人			
設立年月日	平成 11 年 10 月 11 日			
URL	<a href="http://www.go-hers.co.jp/">http://www.go-hers.co.jp/</a>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の定める再商品化の事業</li> <li>・OA 機器等のリサイクル事業</li> </ul>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部業務課		
	担当者名	今 信広		
	連絡先	電話番号	0144-53-9307	
		FAX	0144-51-699	
E メールアドレス		kon@go-hers.co.jp		

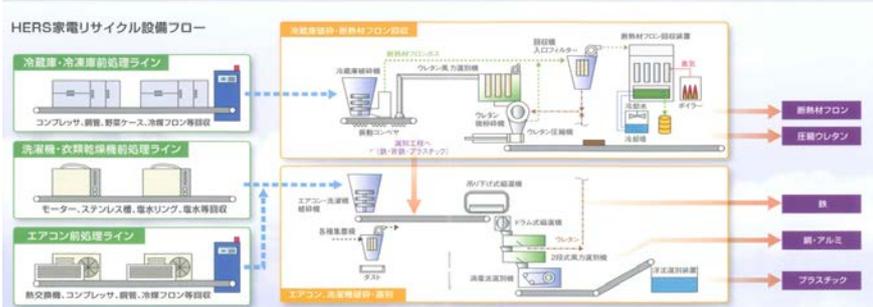
1.3.2 技術情報(1)

キーワード	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)、銅			
技術名称	破砕銅選別技術(手分解・破砕・機械選別)			
技術の分類	破砕・選別			
目的・用途	資源回収(銅)・銅原料素材			
特長	家電由来であり、品位が安定しています。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃家電 4 品目 (TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	家電リサイクル法に基づいた回収ルートであること
供給資源・製品	銅		形状	径Φ2～8 mm、 長さ 20 mm～ 概ね 150mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	1. 家電メーカーの管理・指導の下に、家電リサイクル法に則った適正なりサイクル処理が行われます。 2. 高いリサイクル率により、より多くの資源を還元いたします	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	家電由来であり、品位・形状・生産量が安定しています。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学者数:平成 24 年度は 326 名。	

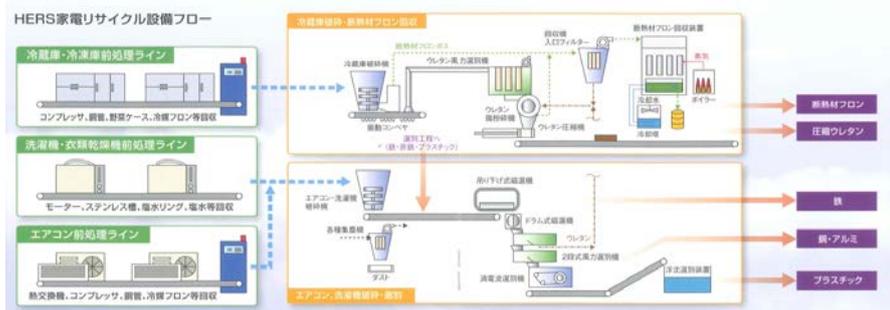
1.3.3 技術情報(2)

キーワード	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)、アルミニウム			
技術名称	破砕アルミニウム選別技術(手分解・破砕・機械選別)			
技術の分類	破砕・選別			
目的・用途	資源回収(アルミニウム)・アルミニウム原料素材			
特長	家電由来であり、品位が安定しています。			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃家電 4 品目 (TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	家電リサイクル法に基づいた回収ルートであること
供給資源・製品	アルミニウム		形状	径:10Φ、長さ: 概ね 100 mm以下
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	1. 家電メーカーの管理・指導の下に、家電リサイクル法に則った適正なりサイクル処理が行われます。 2. 高いリサイクル率により、より多くの資源を還元いたします  家電由来であり、品位・形状・生産量が安定しています。  施設見学者数:平成 24 年度は 326 名。	
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等		
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等		

1.3.4 技術情報(3)

キーワード	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)、鉄			
技術名称	破碎鉄選別技術(手分解・破碎・機械選別)			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	資源回収(鉄)・鉄原料素材			
特長	家電由来であり、品位が安定しています。			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃家電 4 品目 (TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	家電リサイクル法に基づいた回収ルートであること
供給資源・製品	鉄		形状	概ね 50 mm × 30 mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<p>1. 家電メーカーの管理・指導の下に、家電リサイクル法に則った適正なりサイクル処理が行われます。</p> <p>2. 高いリサイクル率により、より多くの資源を還元いたします</p> <p>家電由来であり、品位・形状・生産量が安定しています。</p> <p>施設見学者数:平成 24 年度は 326 名。</p>	
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等		
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等		

1.3.5 技術情報(4)

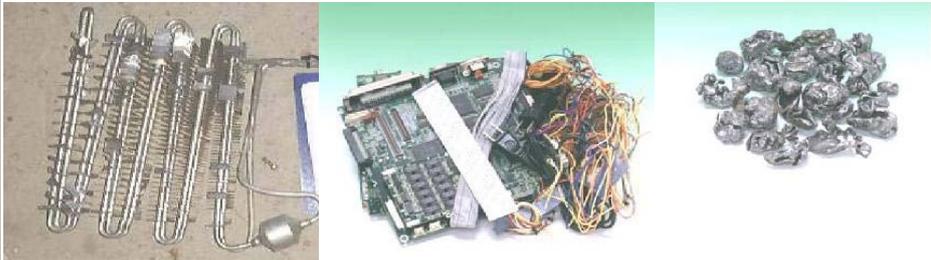
キーワード	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)、プラスチック			
技術名称	破碎プラスチック選別技術(手分解・破碎・機械選別)			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	資源回収(プラスチック)・プラスチック原料素材			
特長	家電由来であり、品位が安定しています。			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃家電 4 品目 (TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	家電リサイクル法に基づいた回収ルートであること
供給資源・製品	プラスチック		形状	概ね 100mm×50mm×2mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	1. 家電メーカーの管理・指導の下に、家電リサイクル法に則った適正なりサイクル処理が行われます。 2. 高いリサイクル率により、より多くの資源を還元いたします	
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	家電由来であり、品位・形状・生産量が安定しています。	
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	施設見学者数:平成 24 年度は 326 名。	

## 4.5 株式会社エコリサイクル

### 4.5.1 事業者情報

名 称	株式会社エコリサイクル			
本社住所	〒 017-0005	秋田県大館市花岡町字堤沢 42 番地		
資本金、出資金	150,000 千円			
従業員数	54 人			
設立年月日	平成 11 年			
URL	<a href="http://www.dowa-eco.co.jp/business/recycle/home_ele_recycle/ecorecycle.html">http://www.dowa-eco.co.jp/business/recycle/home_ele_recycle/ecorecycle.html</a>			
事業概要	<p>秋田県北部にはエコタウン事業により環境・リサイクル企業が集中的に立地し、エコリサイクルはその中核企業として廃家電等のリサイクルを行っています。家電リサイクル法により秋田県、青森県、岩手県から排出される廃家電(テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機)やパソコンなど OA 機器類を手分解、機械破碎選別して資源を回収しています。回収した非鉄金属、貴金属類はグループ会社で製錬される他、廃棄物もグループ会社で適正に処理されます。また、平成 25 年 8 月、小型家電リサイクル法の認定事業者となり、同年より秋田県、青森県、岩手県を対象に使用済小型電子機器等の回収、処理事業をスタートしました。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名			
	担当者名	狩野 真吾		
	連絡先	電話番号	0186-47-1001	
		FAX	0186-47-1002	
E メールアドレス		kanous@dowa.co.jp		

#### 4.5.2 技術情報

キーワード	廃家電、小型家電			
技術名称	家電リサイクル			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	廃家電等の破碎・選別により回収された有用物は、各種金属やプラスチック等のリサイクル原料として使用されます。冷蔵庫の断熱材フロンも適切に処理可能。			
特長	品目の組成に応じた適切な処理フローにより効率的に有用物を回収可能。破碎設備内の断熱材フロンを隣接する熱処理施設に配管送風し熱分解することが可能。			
設備、製品等の写真、イメージ	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>冷蔵庫ラジエータ</span> <span>基板</span> <span>鉄スクラップ</span> </div>			
処理フロー図	<pre> graph LR     A[手分解] --&gt; B[縦型破碎]     B --&gt; C[磁力選別]     C --&gt; D[渦電流選別]     D --&gt; E[残さ(熱処理)]          B --&gt; B1[フロン(熱処理)]     C --&gt; C1[鉄]     D --&gt; D1[非鉄金属]         </pre>			
廃棄物の種類	一廃	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	家電 B グループ製品のみ
	一廃	廃小型家電類 (家電 4 品目以外)	受入条件、形状	秋田・青森・岩手のみ
	産廃	廃小型家電類 (家電 4 品目以外)	受入条件、形状	特になし
	有償	その他金属くず (品目:パソコン等 OA 機器類)	受入条件、形状	特になし
供給資源・製品	鉄スクラップ		形状	破碎粒 (50mm 程度)
	非鉄混合物		形状	破碎片 (50mm 程度)
	プラスチック		形状	破碎粒 (10mm 程度)

	ガラス	形状	破碎片(20 cm以下)
	基板	形状	未破砕物、破砕屑
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家電リサイクル法に則った適切な処理により国内の資源循環に貢献</li> <li>・一廃由来である廃小型家電の処理では、自治体の処理コスト減、処理施設延命化等に寄与</li> </ul>
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銅・貴金属含有物(基板、銅線等)は非鉄製錬原料として使用可能</li> <li>・プラスチックはマテリアルリサイクル可能な品質を保持</li> </ul>
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001 取得による環境マネジメントを実施</li> <li>・地域の環境イベントや出前講座など積極的に実施</li> <li>・年間見学者数 約千人(H24 年度実績)</li> </ul>

#### 4.5.3 実績情報

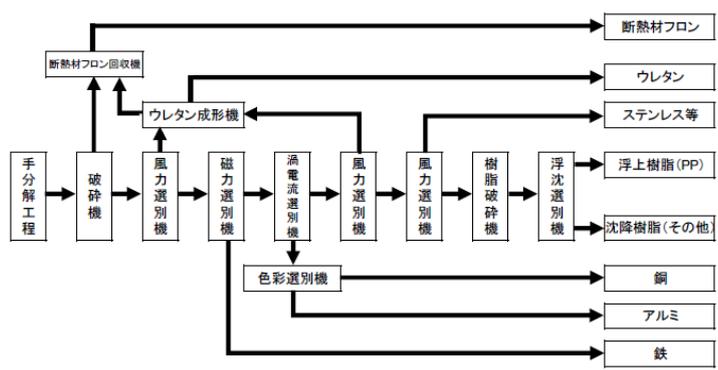
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃家電4品目	非公開	非公開	t
受入可能量	廃家電4品目	-	非公開	t
販売実績量の推移	有価物総量	非公開	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
技術開発の実績(過去5年間)	非公開			
補助金等支援策の活用実績(過去5年間)	非公開			

## 6.1 東日本リサイクルシステムズ株式会社

### 6.1.1 事業者情報

名 称	東日本リサイクルシステムズ株式会社			
本社住所	〒989-5402	宮城県栗原市鶯沢南郷南沢 82 番地の 2		
資本金、出資金	280,000 千円			
従業員数	60 人			
設立年月日	平成 11 年			
URL	<a href="http://www.ejrs.co.jp/">http://www.ejrs.co.jp/</a>			
事業概要	家電リサイクル法の対象機器である廃家電製品と廃OA機器等(産業廃棄物)のリサイクルを行っています。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	事務課		
	担当者名	御処野 史洋		
	連絡先	電話番号	0228(57)1015	
		FAX	0228(57)1016	
Eメールアドレス		gosyono@ejrs.co.jp		

6.1.2 技術情報

キーワード	廃家電製品、廃 OA 機器等(産業廃棄物)			
技術名称	廃家電製品リサイクル			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	廃家電製品、廃 OA 機器等の再資源化			
特長	人手による一次分解・分別と破碎機等による破碎・物理分別を行うことにより、廃家電製品、廃 OA 機器類から鉄、非鉄金属、樹脂類、その他部品等を高い収率で回収し、再資源化します。			
設備、製品等の写真、イメージ	<p>回収素材の写真</p> 			
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	廃家電リサイクルルートにより受入
	産廃	その他(廃 OA 機器類)	受入条件、形状	モニター、本体、周辺機器等
供給資源・製品	鉄		形状	破碎・選別回収品
	銅		形状	破碎・選別回収品
	アルミ		形状	破碎・選別回収品
	樹脂		形状	破碎・選別回収品
	その他(銅線類、ステンレス等)		形状	手解体回収品

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	家電リサイクルを実施した場合と実施しない場合(全量埋立処分したと仮定)を比較して家電リサイクルがもたらす効果を計算しました。 エネルギー使用量:83%削減、CO2 排出量:63%削減、埋立処分量:98%削減(平成24年度分評価結果)
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	同上
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学受入実績:11,278人(～2013年12月末)

### 6.1.3 実績情報

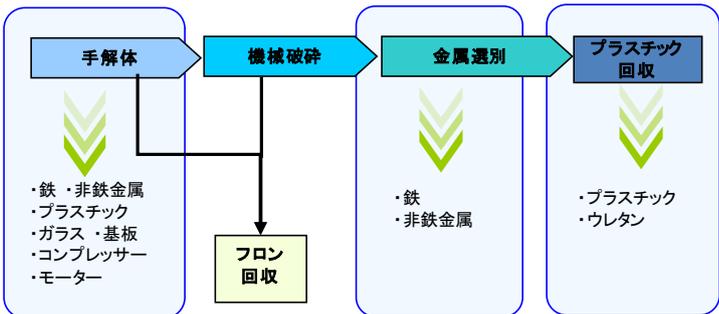
	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	廃家電製品	非公開	非公開	万台
	産業廃棄物(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず)	非公開	非公開	t
受入可能量	一般廃棄物処理施設の処理能力	-	54.0	t/日
	産業廃棄物処理施設の処理能力(廃プラスチック類)	-	67.0	t/日
販売実績量の推移	鉄	非公開	非公開	t
	銅	非公開	非公開	t
	アルミ	非公開	非公開	t
	樹脂	非公開	非公開	t
主な調達先	廃家電リサイクルルート、家電メーカー等			
主な供給先	製鉄業、銅製錬所等			
設備投資の実績(過去5年間)	1. 冷蔵庫処理ライン更新 2. 廃プラスチック選別工程(樹脂破碎机、浮沈選別機)設置 3. 色彩選別機設置 4. 薄型テレビ処理ライン構築			

## 9.2 JFE アーバンリサイクル株式会社

### 9.2.1 事業者情報

名 称	JFEアーバンリサイクル株式会社			
本社住所	〒210-0866	川崎市川崎区水江町 6 番 1 号		
資本金、出資金	300,000 千円			
従業員数	約 100 人			
設立年月日	平成 10 年			
URL	<a href="http://www.urrec.co.jp/">http://www.urrec.co.jp/</a>			
事業概要	<p>1. 家電リサイクル法に規定される使用済み家電4品目の再商品化事業                  2. その他家電製品、OA機器の再生処理による再資源化事業</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	業務部		
	担当者名	佐羽内 史訓、井関 力		
	連絡先	電話番号	044-270-5370	
		FAX	044-270-5385	
E メールアドレス		f.sabanai@urrec.co.jp / c.iseki@urrec.co.jp		

9.2.2 技術情報

キーワード	使用済み家電、4品目			
技術名称	使用済み家電再商品化			
技術の分類	その他(廃家電リサイクル)			
目的・用途	使用済み廃家電の再商品化、その他家電製品・OA機器の再資源化			
特長	使用済み廃家電からフロン類の回収、解体、破碎、選別等の工程を経て、鉄、非鉄、プラスチック等を効率よく回収し、隣接する製鉄所で利用。			
設備、製品等の写真、イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>破碎机</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>磁力選別機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ウレタン減容機</p> </div> </div>			
処理フロー図	 <pre> graph LR     A[手解体] --&gt; B[機械破碎]     A --&gt; C[フロン回収]     B --&gt; D[金属選別]     D --&gt; E[プラスチック回収]     </pre> <p>手解体: 鉄・非鉄金属、プラスチック、ガラス・基板、コンプレッサー、モーター</p> <p>機械破碎: フロン回収</p> <p>金属選別: 鉄、非鉄金属</p> <p>プラスチック回収: プラスチック、ウレタン</p>			
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃家電 4 品目(TV,エアコン,洗濯機,冷蔵庫)	受入条件、形状	
	産廃	その他金属くず(品目:鉄、銅、アルミ等)	受入条件、形状	
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	
供給資源・製品	鉄スクラップ		形状	鉄屑、シュレッダー屑
	非鉄スクラップ(銅、アルミ類)		形状	
	プラスチック類		形状	破碎品
	その他(ハーネス、基板類他)		形状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	使用済み廃家電からフロン類を確実に回収。解体、破碎、選別等の工程を経て鉄、非鉄、プラスチック類を効率よく回収し、9割を超える高い再商品化率を達成。隣接する製鉄所とのシナジー効果を生かしたりサイクルを行っております。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成 23 年度 川崎市「かわさき環境ショーウィンドウ大賞」 創エネ・省エネ部門入賞

### 9.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃家電4品目他	非公開	非公開	台
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	社団法人新エネルギー導入促進協議会の平成 21 年度補助金にて太陽光発電設備導入			

## 22.4 西日本家電リサイクル株式会社

### 22.4.1 事業者情報

名 称	西日本家電リサイクル株式会社			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町1丁目62番地		
資本金、出資金	400,000 千円			
従業員数	40 人			
設立年月日	平成10年12月4日			
URL	<a href="http://www.nkrc.co.jp">http://www.nkrc.co.jp</a>			
事業概要	使用済み家電製品の再商品化事業			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部総務課		
	担当者名	奥平 輝男		
	連絡先	電話番号	093-752-2424	
		FAX	093-752-2425	
Eメールアドレス		tetuo1.okudaira@nkrc.co.jp		

22.4.2 技術情報

キーワード	廃家電のリサイクル技術			
技術名称	使用済み家電製品の再商品化技術			
技術の分類	破砕・選別			
目的・用途	廃家電製品は、手分解・破砕・選別を行い、様々な材料に回収し、製鉄所・プラスチック業者などに排出して、資源として活用しています。			
特長	プラスチックの選別技術については、水の比重で選別を行い、使用済みの排水は再利用して使用しています。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	廃家電4品目 (TV, エアコン, 洗濯機, 冷蔵庫)	受入条件、形状	有り姿
供給資源・製品	シュレッダー鉄		形状	固形 50mm
	非鉄		形状	固形 30mm
	プラスチック		形状	粉碎 13mm アンダー

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	家電製品を着実にリサイクル処理し、高い再資源化を実現すること、フロン回収・無害化やCO2 排出量の抑制、並びにゼロエミッションの推進などを更に良い方法で実現できるように日々取り組んでいます。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	N/A
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	ISO14001、OHSMS 認証

#### 22.4.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃家電	非公開	非公開	千台
受入可能量	廃家電	-	1,000	千台
販売実績量の推移	シュレッダー鉄	非公開	非公開	千トン
主な調達先	消費者(廃家電)			
主な供給先	製鉄所・プラスチック業など			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	ウレタン風力選別装置を導入し、ウレタンの塩素濃度を 3000ppm 以下にコントロールすることにより、RPF 化したウレタンを有償化できた。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	冷蔵庫用新破碎機を導入し、処理能力 UP を可能とした。 また、熱交換器銅・アルミ分離装置及びコンプレッサー分割装置を導入した			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	N/A			